

2年前期 国語 評価の内容

知識・技能	・句読点やかぎの使い方を理解して、文や文章の中で使うことができること。 ・第2学年までに配当されている漢字を読んだり、文や文章の中で使ったりできること。 ・経験した事を伝える言葉の働きに気付くことができること。 ・順序を表す言葉をもとに、読んだり、書いたり、話したりできること。 ・語のまとまりや声の大きさ、読む速さなどに気をつけながら音読できること。 ・身近なことを表す語句の量を増やし、文章の中で使うことができること。 ・話す相手や場に応じて、普段の言葉と丁寧な言葉を使い分けができること。 ・本に親しみ、読書の楽しさを感じることができること。また、いろいろな本があることを知っていること。 ・神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。 ・経験したことから必要なことを集め、事柄の順序に沿って書けること。 ・点画（払い・折れ・反り）の方向に注意して、文字を正しく書いていること。
思考・判断・表現	・物語の場面ごとの登場人物や出来事について理解し、その様子を具体的に想像すること。 ・身近な出来事を題材に選び、「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」と共に自分の気持ちも伝えること。 ・大事なことが伝わるように、特徴や順序を意識して話すこと。 ・大事なことは何かを理解し、落とさないようにメモを取りながら聞くこと。 ・季節を表す言葉、日にち、時間を表す言葉に着目し、時間の順序に沿って読むこと。 ・物語文を読んで、出来事を理解しながら、あらすじや感想をまとめること。 ・自分のお気に入りの本を紹介すること。 ・説明文を読んで、自分の知識や経験と文章の内容を結び付けた感想をもつこと。 ・点画（払い・折れ・反り）の方向の違いを確かめていること。
主体的に学習に取り組む態度	・すすんで読書に取り組み、読書記録を書こうとすること。 ・粘り強く集中して聞こうとすること。 ・積極的に言葉の働きに気付き、ねらいに沿って文章に表そうとすること。 ・積極的に第2学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って漢字の同じ部分を意識して、粘り強く読んだり書いたりすること。 ・観察したことを詳しく書くことの大切さに気付き、すすんで観察文や記録文を書こうとすること。 ・物語や説明文など長い文章に粘り強く読み、すすんで感想をもとうとすること。 ・登場人物の行動について音読を聞き合い、感想を伝え合おうとしていること。 ・積極的に点画（払い・折れ・反り）の方向に注意し、文字を書こうとしていること。

2 年前期 算数 評価の内容

知識・技能	・身の回りにある数量を分類整理し、簡単なグラフや表を用いて表したり読み取ったりできること。 ・2けたのたし算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解できること。 ・2けたのひき算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解できること。 ・長さについて単位と測定の意味や、単位の関係、物差しを目盛りの仕組みを理解し、身の回りのものの長さを測定したり、指定された長さの直線をひいたりできること。 ・3けたの数について、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりできること。 ・体積について単位と測定の意味や、単位の関係を理解し、水の体積を測定できること。 ・時刻と時間の区別、及び日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、時刻や時間を求めたり、表したりできること。
思考・判断・表現	・2けたのたし算やひき算の計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現すること。 ・身の回りのものを長さに着目してとらえ、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりすること。 ・10 や 100 のまとまりに着目し、10 になると別の位で表す仕組みを考え、表現すること。 ・身のまわりにある入れ物の中に入る水の体積に着目してとらえ、目的に応じた単位で体積を的確に表現したり、比べたりすること。 ・時間の単位に着目し、図などを用いて時刻と時間の求め方を考え、説明すること。
主体的に学習に取り組む態度	・グラフや表を用いて表現・処理したことを振り返り、一目でわかる、数が分かりやすいなどのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする。 ・2 けたの数のたし算やひき算の筆算の仕方について、図や式などを用いて考え、粘り強く練習に取り組むこと。 ・身の回りにあるものの長さに関心を持ち、長さは移動させても変わらないことやたし算で長さの合計が求められるよさに気付き、今後の生活や学習に活用しようとする。 ・身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心を持ち、L（リットル）d L（デシリットル）m L（ミリリットル）の単位を用いてかさを表すよさに気付き、今後の生活に活用しようとする。 ・時刻や時間に関心を持ち、1 日は24時間の関係をもとに午前、午後を用いて時刻を表せるよさに気付き、今後の生活や学習に活用しようとする。

2年前期 生活 評価の内容

知識・技能	・小学校の生活、決まりやマナーなどについて知り、守ることができること。 ・町探検を通して、場所や人、ものやことに興味をもち、見付けたことをまとめ、友達同士で伝え合うことができること。 ・身近な自然に興味をもち、約束を守って友達と遊んだり、いろいろな感覚を使って感じたりして、友達同士で伝え合うことができること。 ・生きものに関心をもち、見つけたい、飼いたいという願いをもって生きものに関わっていること。
思考・判断・表現	・小学校の生活の仕方や過ごし方などについて決まりやマナーなどについて友達同士で教え合うこと ・学校探検で、下学年に学校のことを教えることを通して交流し合うこと。 ・ミニトマトの変化や生長の様子、自分との関わり、気付いたことなどを、比べたり例えたりしてカードに書くこと。 ・ミニトマトの生長の様子を絵や文にまとめたり、動作化したりすることを通して、一粒の種の尊さ、生命の神秘に触れること。 ・身近な自然の中にいる生きものの様子とその捕まえ方などについて考えること。
主体的に学習に取り組む態度	・小学校の生活の中で取り組むべきことの大切さに気付き、自分の生活に望もうとしていること。 ・ミニトマトの世話を継続的に行い、生長の様子や気付いたことをカードに粘り強く記録したり、それについてみんなに話したりしていること。 ・身近な自然について、意欲的に観察し、季節の特徴や楽しみ方を見つけようとしていること。 ・生きものを育てた経験を振り返りながら、生きものを大切にできるようになった自分の成長に気付いていること。

2年前期 音楽 評価の内容

知識・技能	・曲想（音楽の雰囲気や表情）と音楽の構造（速さ・強弱・リズムなど）との関わりに気付くことができること。 ・手拍子によるさまざまな音の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いていること。 ・音色や響きに気を付けて、鍵盤ハーモニカを演奏できること。 ・お互いの楽器の音や伴奏を聴きながら、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けること。 ・身近な音符・休符・記号・用語を理解して、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けること。
思考・判断・表現	・曲想を感じ取って表現を工夫して、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いをもっていること。 ・音遊びを通して音楽づくりの発想をもち、どのように音を音楽にしていくかについて考えをもっていること。 ・強弱、タイミング、打つ回数などを聴き取り、よさや面白さを感じ取りながら、音遊びを通して音楽づくりの発想をすること。 ・鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見出し、曲全体を味わって聴いていること。
主体的に学習に取り組む態度	・いろいろな拍子の音楽など、互いの音や表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組むこと。 ・鍵盤ハーモニカの演奏に興味をもち、音の強弱の変化や違いに気付き、すすんで学習活動に取り組むこと。 ・楽器の演奏などできるようになるために考えたり、粘り強く練習したりと、主体的に取り組むこと。 ・友達と協力して学習活動をしようとしていること。

2年前期 図工 評価の内容

知識・技能	・思いを広げて表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いていること。 ・手や指の感覚を十分に働かせて、材料に関わり、何度も試しながら、つくりたい形に向かって工夫できること。 ・紙、はさみ、のり、セロハンテープなどに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表すことができること。
思考・判断・表現	・光を通す材料や、材料に光を通してできた形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えていること。 ・つくりながら想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えていること。
主体的に学習に取り組む態度	・身近な環境の中にある形や色の面白さや楽しさ、不思議さを自分なりに感じ取り、感じ取ったことを表す楽しさを味わっていること。 ・つくりだす喜びを味わい、楽しく材料に光を通して形や色を映す学習活動に取り組むこと。 ・表現したり鑑賞したりすることについて、楽しく活動しようとしていること。 ・形や色を視点に、比べたり、選んだり、作りだしたりして、夢や願いをもって粘り強く取り組もうとしていること。 ・紙をはさみで切って、できた形から表す学習活動に楽しみを見だし、主体的に取り組もうとしていること。

2年前期 体育 評価の内容

知識・技能	・リズムよく、のびのびとした動作で歩いたり走ったりできること。 ・体のバランスをとって座ったり、立ったりができたり、跳んだりすることができること。 ・50メートル走で、真っ直ぐ前を見たり、足を強く蹴ったり、腕を前後に大きく振ったりして走ることができること。 ・ゲームの仕方を理解し、鬼遊びをすることができること。 ・鉄棒を使って振ったり、回ったり、支持して跳び上がったり、跳び下りたりすることができること。 ・ねらったところにボールを投げることができること。 ・水につかって歩いたり、走ったりできること。水にもぐったり、浮いたりできること。 ・固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りができること。
思考・判断・表現	・体をほぐしたり多様な動きを作ったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 ・体のバランスの取り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 ・リズムよく走ったり、跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 ・みんなで鬼遊びの簡単な規則や進め方を話し合っていること。 ・いろいろな鉄棒遊びのしかたを知り、遊びに合った場(鉄棒の高さ)を選んだり、練習の仕方を工夫したりしていること。 ・ねらったところに当たるように、ボールの投げ方を工夫し、考えたことを友達に伝えること。 ・水遊びの中で、友達の良い動きを見つけたり、考えたりしたことを友達に伝えること。 ・固定施設を使って、楽しくできる場や遊び方を選ぶこと。
主体的に学習に取り組む態度	・すすんで運動遊びやゲームに取り組み、粘り強く練習しこれからの日常生活に生かしていこうとすること。 ・決まりを決めてみんなと仲よく安全に鬼遊びをしようとする事 ・体を動かすと気持ちがいよことや、運動すると汗が出て心臓の鼓動が激しくなるなどの自分の心と体の変化に気付くこと。 ・運動の順番や決まりを守ったり、勝敗の結果を受け入れたりしようとする事。 ・友達と仲よくゲームをしようとする事。 ・用具の準備や片付け、場の安全に気を付けて活動すること。